

八王子市教育委員会 殿

学校名 八王子市立七国中学校
校長名 本田 秀雄 公印

令和8年度教育課程について(届)

このことについて、八王子市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

「教養と品格を身に付け、社会に貢献する人物の育成」

- 『めざす生徒像』
- ・ よく学び、よく考え、進んで高めていく生徒 (知)
 - ・ 他を思いやり、いじめをしない許さない生徒 (徳) ◎ (重点目標)
 - ・ 身体と生命を大切にし、忍耐強く頑張る生徒 (体)

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 確かな学力の育成

- ① 基礎的、基本的な学習内容の定着を図るために、教材研究や指導方法の工夫による授業改善及び授業力の向上に努める。
- ② 分かる授業を基本とし、学習意欲を高め、主体的、対話的で深い学びの学習活動を充実させる。

○イ 豊かな心の育成

- ① 命の大切さ及び人権尊重の精神に基づき、思いやりの精神を育む。
- ② 教育活動全体を通して、道徳的心情や適切な判断力及び実践力・態度を育成する。
- ③ 規範意識を高め、ルール・マナーの徹底を図り、自律心や社会性を育む。

ウ 健やかな体の育成

- ① 学級活動や学年・学校行事を通して、物事に主体的に取り組む姿勢を育む。
- ② 保健体育科の授業や部活動等を通して、困難な状況を乗り越える気力や体力を向上させる。

エ 不登校生徒への支援

- ① 支援委員会で「個票システム」を基に、個々の生徒の支援ニーズに応じた組織的な対応を行う。
- ② 不登校総合対策「つながるプラン」に基づき、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係諸機関等との社会的自立に向けた連携を行い、適切な支援を図る。
- ③ 別室指導の充実及び関係諸機関との連携、学習用端末の活用により、生徒の居場所づくりを行う。

オ いじめ防止等の取組

- ① 「いじめ対応のための時間」を活用するとともに、「いじめアンケート」や「教員による日々の見守り」等、手だてを駆使していじめの未然防止、早期発見・早期対応を行う。
- ② 八王子市教育委員会「いじめ総合対策」に基づき、学校いじめ対策委員会での報告や対応の検討等、組織的な対応を行う。

カ 特別支援教育の充実

- ① 組織体制を強化、校内研修等により教員の特別支援教育に対する理解を深め、実践力を向上する。
- ② 外部機関等と連携、社会的自立をめざして生徒一人ひとりの特性や状況に応じた支援を行う。

キ 小中一貫教育のさらなる充実 【七国中学校グループ(七国小学校)】

- ① 義務教育9年間で育てたい児童・生徒像を『自ら学び成長する児童・生徒』とし、『主体的に社会に貢献しようとする人材』を育成する。
- ② 七国中学校グループ教員による合同研修や共通理解に基づいた児童・生徒の交流を行う。
- ③ 縦(学びの連続性)と横(地域協働)の仕組みを活かした「七国地区学園都市構想」を推進することで、地域教育資源を最大限に活かした子どもの未来づくりに挑戦する。

2 指導の重点

(1) 各教科等

ア 各教科

- ① 「主体的・対話的で深い学び」、「基礎的・基本的な学習内容の定着」の実現に向けた授業改善を行う。授業内での指導目標の明示、指導内容の分かりやすい説明、発問の内容とタイミング及びワークシート、プリント教材の工夫、体験活動、グループ活動やペアワーク等による協働的な学習を取り入れる。反復学習や単元テスト・小テストの実施等による基礎・基本の定着を図る。
- ② 「東京方式習熟度別ガイドライン」に基づき、数学科における習熟度別授業及び英語科における少人数授業を実施する。指導内容・指導方法・進行状況・評価方法等について常に担当教員間で共通理解を図りながら学習指導を進める。
- ③ ICT機器及び1人1台の学習用端末及び学習コンテンツを効果的に活用し、興味・関心を高めさせるとともに、指導の個別化、学習の個性化を図る。
- ④ 学力の確実な定着に向けて「はちおうじっ子ミニマム」や「八王子市学力定着度調査」をはじめとする各種学力調査の結果を分析、生徒一人ひとりの実情に合わせた指導や授業改善に取り組む。
- ⑤ 小中一貫教育分科会の「GIGAスクール推進部会」を軸に、教員のICT指導力の向上を図り、9年間を通してICT活用能力を育成する七国中学校グループ版GIGAスクール構想を推進する。

イ 総合的な学習の時間

- ① 郷土や日本遺産等、各学年でテーマや学習内容を定め、横断的・総合的な学習や探究的な活動を通して、地域の魅力や歴史を学び、生徒がテーマを追究する課題解決の基本を身に付けさせる。
第1学年 ... 自己理解、郷土学習、移動教室（農業宿泊体験学習）、職業調べ、防災学習 他
第2学年 ... 職場体験、上級学校訪問、郷土学習、移動教室（農業宿泊体験学習） 他
第3学年 ... 修学旅行（京都・奈良）、進路学習、命の学習、国際理解学習 他
全学年 ... 情報リテラシー、調べ学習・プレゼンテーションの方法
- ② ICT機器及び1人1台の学習用端末を効果的に活用して探究活動を行い、表現力や発表力の向上を図る。各取組においては各教科との横断的な学習とともに、地域行事や学校行事と関連させる。

ウ 特別活動

- ① 学級活動を通して、よりよい人間関係を形成し、豊かな情操を育むとともに、集団の一員としての健全な生活態度を身に付けさせる。
- ② あいさつ運動等の生徒会活動を通してよりよい集団づくりに参画する自覚を養い、自主的・実践的な態度を育てる。
- ③ 学校行事及び移動教室、修学旅行等において、実行委員を中心とした主体的な取組を通して生徒の自主的活動を促進し、集団への所属感や連帯感・公共の精神及び協力する心を育てる。

(2) 「特別の教科 道徳」を要とする道徳教育

- ① 全ての教育活動を通して、人権尊重の精神やよりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- ② 道徳教育推進教師を中心に、【生命の尊さ】を重点内容とした道徳教育全体計画及び別葉を基に実施する。道徳科の授業では、多様な捉え方や考え方がることを理解させ、多面的・多角的に考えを深めながら道徳性の向上を図る。
- ③ 道徳科の授業を要とし、教育活動全体を通じて、自己と他者を大切にす心、節度ある言動、思いやりの心、寛容な心を育み、望ましい人間関係を育成する。
- ④ 学校・保護者・地域・学校運営協議会が一体となり、道徳授業地区公開講座や学校だより・学年だより等を通じて思いやりの心を育て、家庭や地域と協力しながら道徳性を育む取組を進める。

(3) キャリア教育

- ① 七国中学校グループで継続して「はちおうじっ子キャリア・パスポート」を活用し、義務教育9年間の計画的・系統的なキャリア教育を実践するとともに、探究学習・STEAM教育の推進を図る。
- ② 身近な職業調べや職場体験、上級学校訪問等を実施し、望ましい勤労観及び職業観を養い、自己理解に基づいた将来の夢の実現に向けた適切な進路選択ができる力を身に付けさせる。
- ③ 七国地区の豊かな地域資源を活かし、七国小学校「町探検」や七国中学校職場体験など、小中が相互交流を図るとともに地域の魅力、郷土学習を取り入れた「地域連携型キャリア教育」を推進する。

(4) 特別支援教育

- ① 通常の学級と太陽学級との交流活動や共同学習を通じたインクルーシブな教育を推進し、多様性を尊重する態度、互いのよさを活かして協働する力を育むとともに障害者理解教育を推進する。
- ② 副籍交流では生徒の実態や保護者の要望、在籍校との協議や調整を行い、直接的・間接的交流を行う。
- ③ ユニバーサルデザインの視点を全学級の学級活動や授業に取り入れ、学習のしやすさの工夫や指導及び生徒の困り感に寄り添う体制を構築する。

(5) 生活指導

ア 生活指導

- ① 生活指導の重点を全教職員で共通理解し、毅然とした態度で組織的に指導を行う。生徒行動指針『み身だしなみ』・そ(掃除)・あ(挨拶)・じ(時間)』を意識させ、ルールやマナーの徹底を図り、基本的な生活規範を確立させるとともに生徒の実態に合わせて生活のきまりを改善する。
- ② 「SNS七国中ルール」に基づく指導により情報モラルを身に付けさせ、トラブルを未然防止する。
- ③ 性犯罪・性暴力等に対する「『生命(いのち)の安全教育』」や毎月の安全指導、セーフティ教室や薬物乱用防止教室等を通じて、生徒自身の安全及び身を守るための知識や行動を身に付けさせる。

イ いじめ防止等の取組

- ① 毎週月曜日6校時・水曜日5校時の「いじめ対応の時間」で、学年・学級担任と生徒との二者面談を行い、一人ひとりの状況を把握し迅速な対応を行う。
- ② 毎週の「学校いじめ対策委員会」で、いじめが疑われる事案の共通理解と対応についての検討を行う。
- ③ 休み時間等、日常的に生徒の様子を観察及び日頃からの生徒の見守りや信頼関係の構築に努め、生徒が相談しやすい体制を整えて実態把握といじめの早期発見・早期対応を行う。
- ④ Q-Uや「いじめに関する生徒アンケート」等の実施結果を、生徒の状況把握と支援に活用する。

ウ 不登校生徒への支援等

- ① Q-Uの活用やスクールカウンセラーによる全員面談を通して、個別の支援及び望ましい集団づくりを行う。
- ② 週1回の支援委員会で、個票システムを活用して不登校(傾向)生徒の情報共有や支援の方向性を検討する。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、迅速かつ組織的な取組を行う。
- ③ 別室指導の充実及び不登校巡回教員と連携した支援、学習用端末の活用等、学びの場を確保するとともに生徒の居場所づくりを行い、不登校の未然防止に取り組む。

(6) 学力保障の取組(はちおうじっ子ミニマムの取組)

- ① 生徒による授業アンケート及び校内OJTにより、授業力の向上に努め、分かる授業を展開する。
- ② 「はちおうじっ子ミニマム」の結果・分析を活用して放課後や長期休業日等の学習教室、個別の補習教室を実施し、基礎学力の確実な定着を図る。

(7) 特色ある教育活動

ア 義務教育9年間を見通した小中一貫教育の取組【七国中学校グループ(七国小学校)】

(取組1) 七国小学校児童と七国中学校生徒による合同の取組や交流を充実させる。「はちおうじっ子サミット」「ユニセフ募金」「挨拶運動」等の実施により、小中の円滑な接続を行う。

(取組2) 「小中一貫教育の日」において、小中相互の授業見学を行う。「学力定着プロジェクトチーム」で9年間を見通した学力状況や課題を共有して、学力保障に向けて取り組む。

(取組3) 「小中一貫教育の日」の「生活指導部会」で、児童・生徒の情報共有を行う。授業見学や出前授業、授業体験を通して児童・生徒の実態を把握し、生徒指導に活かす。

- (取組4) 「地域の子どもは地域で育てる」教育の推進に向け、地域企業と連携した職場体験を実施するとともに、青少年対策七国地区委員会・育成指導員による地域清掃や緑化活動への参加を促す。

イ その他

- ① 一人一台の学習用端末を全学年・教科において効果的に活用し、「情報活用能力系統表」に基づく指導を行い、情報リテラシー及びICT活用技能の資質・能力の向上を図る。
- ② 「部活動改革ロードマップ」に基づき、整理、再編された部活動を実施し、ガイドラインに沿って設定した活動内容の適切な運営を図る。
- ③ 青少年対策七国地区の清掃活動やどんど焼き等、地域主催の活動に積極的・主体的に参加させ、ボランティア精神や地域を愛する心を育む。